

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確定値）

（令和6年3月7日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：%	備考
ガン類	26,947	51.2%	過去 5 番目
ハクチョウ類	702	1.3%	過去 47 番目
カモ類	24,939	47.4%	過去 24 番目
計	52,588	100.0%	過去 7 番目

※ 3月調査は昭和47年度から実施しており、今年度は52回目となる。

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
令和6年3月7日	26,947	702	24,939	52,588
令和5年3月2日	14,585	934	22,048	37,567
増減	12,362	▲ 232	2,891	15,021

3 主な確認地

(1) ガン類

地点名	市町村	羽数	昨年の羽数
伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	13,121 羽	12,499 羽
蕪栗沼	(大崎市)	13,017 羽	1,850 羽
迫川一ニツ屋橋付近	(登米市)	250 羽	0 羽

(2) ハクチョウ類

迫川-豊里町上谷地	(登米市)	130 羽	0 羽
旧北上川-御岳堂駅付近	(登米市)	85 羽	2 羽
迫川一ニツ屋橋付近	(登米市)	75 羽	0 羽

(3) カモ類

伊豆沼・内沼	(栗原市・登米市)	1,624 羽	1,579 羽
鳴瀬川-鳴瀬大橋	(加美町)	1,208 羽	549 羽
字沖富	(栗原市)	1,048 羽	540 羽

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地 517 か所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会等 103 人

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます。
HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

今冬の北帰行は1月上旬から始まり、2月上旬にはほぼ完了した。例年2月上旬から北帰行が始まるが、今冬は例年よりも1ヶ月早い北帰行となった。暖冬によって秋田、岩手など北東北の中継地で積雪が少ないなど、北帰できる環境が早く整ったためと考えられる。しかし、2月下旬以降の寒波によって北の中継地から群れの一部が戻ってきたこと、宮城県を中継する南の地域から北上してきた群れによって、昨年より個体数が増加したと考えられる。